

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

1	所管 室課	高齢福祉室	事業名	介護予防サービス計画等作成事業		
事業概要						
介護予防サービス計画等作成						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
平成31年4月に地域包括支援センターの直営は基幹型（高齢福祉室）のみとなり、サービス計画策定は終了した。 委託型包括支援センターの後方支援として、対応困難、緊急対応ケース等のケアプラン作成が生じた場合に備えて、高齢福祉室を指定介護予防支援事業者として登録しているが、実績はなし。		決算額（千円）	0	16	※課題があるものは■	
		一般財源の比率（％）	0.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性	
		特になし。			☐ 効率性	
☐ 公平性						
				☐ 持続可能性	今後の実施計画の方向性・内容	
					継続	

2	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業		
事業概要						
高齢者虐待対応短期入所生活介護						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
高齢者に対する虐待を防止し、高齢者の自己決定の尊重と権利擁護を図る。 利用実績なし。		決算額（千円）	0	0	※課題があるものは■	
		一般財源の比率（％）	0.0	0.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性	
		特になし。			☐ 効率性	
☐ 公平性						
				☐ 持続可能性	今後の実施計画の方向性・内容	
					継続	

3	所管 室課	高齢福祉室	事業名	在宅福祉サービス事業				
事業概要								
高齢者日常生活用具給付等、緊急通報システム、高齢者寝具乾燥消毒サービス、配食サービス、高齢者訪問理美容サービス、高齢者支援事業者との連携による見守り、高齢者家具転倒防止器具設置助成								
活動実績			年度	R2	R3	評価の視点		
【緊急通報システムへの人感センサー追加による拡充】 配食サービスや日常生活用具の給付等を行い、高齢者の福祉の増進を行った。 (1) 高齢者日常生活用具給付等 ・高齢者電話 8件 ・電磁調理器 36件 ・老電基本料金件数 1,049件 ・老電年度末設置台数 84台 (2) 緊急通報システム ・給付件数 114件 ・年度末設置数 1,432台 人感センサー ・給付件数 4件 ・年度末設置数 4台 (3) 高齢者寝具乾燥消毒サービス ・延実施件数 2,081件 ・当日辞退件数 79件 (4) 配食サービス ・総件数60,764件 ・延利用者数 3,794人 ・検便実施件数 408件 (5) 高齢者訪問理美容サービス ・延利用件数 21件 (6) 高齢者支援事業者との連携による見守り ・年度末協力事業者数 621事業者 (7) 高齢者家具転倒防止器具設置助成 ・助成件数 0件			決算額 (千円)	51,648	39,000	※課題があるものは■		
			一般財源の比率 (%)	99.8	99.8		■ 市民ニーズ、社会的役割	
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			(4) 社会状況の変化に伴い、多様な事業形態の民間事業者が増加しているため、令和5年度をもって廃止を予定している。 (6) 福祉クーポン券交付事業者、「大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定」を締結した企業に対して周知する。		
			今後の実施計画の方向性・内容			継続		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

4	所管室課	高齢福祉室	事業名	診断料助成事業
事業概要				
診断料助成				
活動実績				
(1) 助成件数 ・令和元年度 390件 ・令和2年度 363件 ・令和3年度 449件		年度	R2	R3
		決算額 (千円)	5,617	5,607
		一般財源の比率 (%)	100.0	100.0
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		現在、生活保護受給者を除くすべての市民が対象となっているため、持続可能な事業の構築が課題である。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
				今後の実施計画の方向性・内容
				継続

5	所管室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（地域包括支援センター・財産）
事業概要				
千里ニュータウンプラザ施設管理				
活動実績				
桃山台・竹見台地域包括支援センターが設置されている、千里ニュータウンプラザの公有財産購入に伴う支出。		年度	R2	R3
管理運営に係るサービス購入料（設計建設） 7,860千円		決算額 (千円)	7,989	7,860
		一般財源の比率 (%)	100.0	100.0
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		特になし。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
				今後の実施計画の方向性・内容
				継続

6	所管室課	高齢福祉室	事業名	通いの場補助事業
事業概要				
通いの場補助				
活動実績				
介護予防又は生活支援を要する高齢者を対象に、健康チェック、給食、健康体操、筋力トレーニング等の介護予防やレクリエーション活動等のサービスを提供する場（街かどデイハウス）を運営する者に対して、補助金を交付した。		年度	R2	R3
街かどデイハウス運営団体数 7団体 街かどデイハウス延利用者数 9,982人		決算額 (千円)	22,793	24,883
		一般財源の比率 (%)	100.0	100.0
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		街かどデイハウスの運営スタッフが高齢になっており、次の担い手が不足している。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
				今後の実施計画の方向性・内容
				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

7	所管室課	高齢福祉室	事業名	福祉クーポン券交付事業
事業概要				
通院困難者タクシークーポン券、はり・きゅう・マッサージクーポン券				
活動実績		年度	R2	R3
高齢者に通院困難者タクシークーポン券を交付することで、通院の利便性向上を図った。 また、高齢者の健康保持のため、はり・きゅう・マッサージクーポン券を交付した。 (1) 通院困難者タクシークーポン券 ・交付者数 902人 ・交付枚数 21,648枚 ・使用枚数 9,129枚 ・クーポン券使用事業者数 96事業者 (2) はり・きゅう・マッサージクーポン券 ・交付者数 270人 ・交付枚数 1,488枚 ・使用枚数 736枚 ・クーポン券使用施術所数 51か所		決算額（千円）	7,500	8,732
		一般財源の比率（％）	99.9	99.8
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		(1) クーポン交付枚数及び助成額が年々増加しているなかで、交付要件の緩和を求める声もあり、事業の持続可能性の観点から今後の検討が必要。 (2) 交付枚数及び使用枚数が減少傾向にあるため、今後の方向性の検討が必要。		
		評価の視点		
		※課題があるものは■		
		■ 市民ニーズ、社会的役割		
		☐ 有効性		
		☐ 効率性		
		☐ 公平性		
		■ 持続可能性		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		

8	所管室課	高齢福祉室	事業名	福祉の措置事業
事業概要				
養護老人ホーム入所措置、やむを得ない措置				
活動実績		年度	R2	R3
高齢者に対し、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じた。 (1) 養護老人ホーム入所措置 ・延べ措置者数 278人 ・年度末措置者数 18人 ・新規入所者数 0人 ・退所者数 8人 (2) やむを得ない措置 ・措置者数 0人		決算額（千円）	61,841	53,779
		一般財源の比率（％）	79.3	79.0
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		特になし。		
		評価の視点		
		※課題があるものは■		
		■ 市民ニーズ、社会的役割		
		☐ 有効性		
		☐ 効率性		
		☐ 公平性		
		☐ 持続可能性		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		

	所管室課	事業名
事業概要		
活動実績		年度
		R2
		R3
		決算額（千円）
		一般財源の比率（％）
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題
		評価の視点
		※課題があるものは■
		■ 市民ニーズ、社会的役割
		☐ 有効性
		☐ 効率性
		☐ 公平性
		☐ 持続可能性
		今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名